

# 『Mind Charging』

第 53 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 6 月 9 日

## モーツァルトの名言



### **Because I have a dream, a life is brilliant.**

#### 夢を見るから、人生は輝く

『トルコ行進曲』や、『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』など、現在も多くの人々に愛される曲を作り、『神童』と呼ばれたモーツァルト。調べても、正確な数字はサイトによって様々なので明確にはお伝え出来ませんが、断片も含めると 600 曲～700 曲以上もの作曲を手掛けたそうです。35 歳で生涯を終えたことを考えると、作曲ペースは単純に計算しても年間 20 曲前後という信じられないペースです。それも、ただ作曲するだけでなくジャンルも様々であり、現在で言う『ヒット曲』もかなりの数ですから神童と呼ばれるのも納得できますね。ただ、同レベルの作曲数を誇る作曲家は多く存在したようです。音楽というジャンルだけでも神童が複数名存在するというわけで、非常にレベルの高い時代であったことが想像できます。

(参考: ヴィヴァルディ約 1000 曲・ベートーヴェン約 400 曲・シューベルト約 1000 曲・バッハ 約 1000 曲など)

現在も多くのアーティストが数々の曲をリリースし、みなさんの耳を楽しませていますが、モーツァルトたちが今の時代に生きていたらどんな曲を作ったのか気になるところです。そして、モーツァルトが生きた時代にも現代にも様々な『自分のイメージ』を表現する方法があり、『夢』とは、自分の思う最高のイメージであり、『夢を叶える』とは、自分の思う最高のイメージを表現し、それを実感することとも捉えられます。『輝かしい経歴』という言葉もあるように、自分の表現に対して多くの高評価を得ることも、『人生を輝かせる』ことだと思いますが、歴史に残る偉業や作品を発表することだけが人生を輝かせることではありません。価値観は人それぞれです。まずは自分の夢に対して真剣に考えられることや、夢を叶えるために日々の自分の生活を大切にすることから始めていくことが重要であり、『自分の人生を輝かせるのは自分』ということに本気で気づくことができれば、私たちの人生はどんどん輝きを増していくのではないのでしょうか。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(ドイツ語: Wolfgang Amadeus Mozart、洗礼名:ヨハネス・クリュソトムス・ウォルフガングス・テオフィルス・モザルト [Johannes Chrysostomus Wolfgangus Theophilus Mozart]、1756 年 1 月 27 日 - 1791 年 12 月 5 日)はオーストリアの音楽家。ハイドン、ベートーヴェンと並んで古典派音楽、ウィーン古典派を代表する一人である。(Wikipedia 参照)